

## 工藤篤子メールマガジン 38号 2003.10.30

●10月11日、ブランケネーゼ・マルクト教会賛美コンサート

●10月14日機内で

こんにちは。工藤篤子です。

日本に戻ってからはや2週間がたちました。

ドイツでは日中5~10度、夜は0~3度という寒さに震えていたので、大阪に着いてから快適な毎日を過ごしています。

こちらでは、10月19日に大阪トータル・クリスチャン・チャーチ京阪にて、賛美コンサートを、26日には、やはり大阪のインター・ナショナル・バイブル・チャーチにて、礼拝賛美をさせていただきました。それぞれ、祝された会となりました。皆さんのお祈りに感謝いたします。



(写真：ブランケネーゼ教会での賛美)

---

### ●10月11日、ブランケネーゼ・マルクト教会賛美コンサート

こちらへ来る前の10月11日に、ハンブルクのブランケネーゼ・マルクト教会で、日本語教会の音楽家の皆さんと共に賛美コンサートをいたしました。主催が日本語教会だったため、日本人とドイツ人が半々ぐらいの比率でいらしてくださいました。私はこのコンサートで初めて、司会から解説まで、ドイツ語、日本語のバイリンガルでいたしました。前日まで、音楽的、信仰的解説をきちんとドイツ語でできるだろうかと不安たっぷりでしたが、Come to Me コンサートのタイトルどおり、当日は主に委ねることができました。コンサート後、教会のドイツ人たちが、「今日のAtsukoのドイツ語はとても明快で説得力があったよ。」と言ってくれ、ほっとしました。しかしながら、コンサート後、思考疲労で頭痛がしばらく続きましたが・・・

コンサート後は、日本語教会の夫人たちが、お茶とお菓子をしてくださったので、来てくださったみなさんとお交わりをすることができました。私は、ここで数人の方に引き続き、伝道をすることができました。ひとりのドイツ人女性の方は、仏教にたいへん興味を持っている方でしたので、この方には私の証しはたいへんインパクトのあるものだったようです。そしてここで、引き続き、福音の明確な救いを説明することができました。

この日、個人的なことですが、感動的なことがありました。不倫関係からついにご主人と離婚し、私たちの教会を離れたドイツ人女性が、この日コンサートに来てくれたのです。自然療法師だった彼女は、私がリュウマチになったとき、お金を一切取らずに親身になって助けてくれた人でした。ですから、彼女が罪を犯して教会を離れたときには、私の心はひどく痛みました。以来、私は彼女のために祈って来ました。自分がいかに間違っていたかを悔い、これから新たな信仰生活を近くの教会で始めたい、最近、毎日私のCDを聞いて神の深い愛を感じている、と語った彼女の表情は、昔とはまったく違った、穏やかな、砕かれた心が現れていました。

---

### ●10月14日機内で

もうひとつの感動的なできごとは、14日、日本へ来る飛行機で偶然一緒だった、ルーマニアで働かされている川井勝太郎宣教師の話からです。ニュースレター春号に、今年1月のルーマニアでの賛美奉仕の報告をさせていただきましたが、その時、クズドリオアラで開かれた集会で救われた老婦人のことを書かせていただきました。川井先生のお話では、その夫人が近々洗礼を受けられるとのことでした。彼女の救いは真実のものだったのです。そして、その教会に集っていた若いドラという女の子が、日本人のための宣教を祈って日本語を学び始めたニュースなどをお伺いし、いかに主があのかたの集会を祝して下さったかを知り、神を崇めました。

---

## ●これからの予定

以下のコンサートのためにお祈りください。そしてお近くの方は、是非知人、友人をお誘いあわせの上、コンサートにお越し下さい。また、11月21日には、ルーマニアの孤児、障害児を支援するために、チャリティー・コンサートを企画します。特に関西の皆様は、宣伝・売券にどうぞ協力ください！

- 11月 1日(日) 千葉流山福音自由教会 伝道コンサート 14:00  
2日(月) 同上 礼拝賛美 10:30 お問い合わせ：教会 0471-54-1323  
8日(土) みぎわジョイフルアワー 町田市民ホール 第Ⅱ部 14:30~16:00  
お問い合わせ：村山正男 Tel. 042-796-1521  
15日(土) 吹田聖書福音教会礼拝コンサート 19:30~21:00  
16日(日) 同上 11:00~13:00 お問い合わせ：教会、佐々木正文牧師 06-6387-0101  
21日(金) チャリティー・コンサート(ルーマニアの孤児、障害児のために) 18:30  
インターナショナル・バイブル・チャーチ 9F  
お問い合わせ：ミッション・宣教の声内、工藤篤子音楽ミニストリーズ事務局  
06-6226-1334
- 

## 最近の私感ー「祝福」

最近、ハンブルクで60代のクリスチャンのジェロニムご夫妻と知り合いになりました。彼らは、祈って示されると出会う人々にトラクトを渡して伝道しています。彼らの顔が、慈愛に満ちているのが印象的でした。「私たちは散歩するときにも、通りすぎる家々やすれ違う人々の祝福を祈っているのですよ。神は私たちクリスチャンを祝福を運ぶために召されたのですから。」という愛に満ちたことばに、私は、それまで、自分の務めが、キリストの救いを宣べ伝えることであって、祝福を運ぶ者という意識はなかったことに気が付かされました。以来、私も「この家に、この方に、主の祝福が訪れますように」と祈るようになったのです。まさしく、エベネゼル大会で何度も歌った「シャローム・アレハム」なのです。すると、不思議なのです、それまで、ああこの国はだめだ、ドイツ人はだめだ、とどこかで憤慨していた思いが消え、真に彼らの祝福を願うようになってきたのです。祝福とは、神のもとへ来ること、そしてイエス・キリストの救いにあずかることです。これからも、お出会いする皆さんの祝福を祈る者であり続けたいと願っています。

主の平安と祝福が皆様と共にありますように！

シャローム

工藤篤子

\*\*\*\*\*

【チャリティーコンサートのお知らせ】

ルーマニア孤児支援 「地中海ソプラノ」工藤篤子が歌う愛の賛美

日 時： 11月21日（金） 午後6時半より

場 所： VIP 関西センター 9F チャペル

入場料： 1500円（発売中）

詳しくは事務局までお問い合わせください。

【さらなる支援者を求めています！】

工藤篤子音楽ミニストリーズは支援者の皆様の支援献金によって運営されています。

お祈りと支援献金によってミニストリーズをお支えくださる方々を募っています。

支援献金（年間一〇一万円、何口でも可、また分割でも可）、自由献金歓迎。

郵便振替口座 00980-5-62444 「工藤篤子音楽ミニストリーズ」

銀行振込口座 東京三菱銀行 心斎橋支店（店番540） 普通預金 0885935

よろしく願いいたします。